

# 日本鉄鋼協会記事

## 企画委員会

**第3回委員会** 開催日：11月22日。出席者：石原委員長，ほか14名。

1) ISO理事会，総会報告

工業技術院森川繊維化学規格課長より，報告がなされた。TC17の幹事国引受けについては，今回決定せず推移を見まもる事になった。将来の問題として，ISOに対しては協力を惜しまない方針で進む。

2) チェコ・日本シンポジウム開催の件

小規模のシンポジウムを予定している。開催時期は来年2，3月の予定。

3) 鉄鋼技術情報管理欧米調査団派遣の件

協会としての情報システムのあり方につき問題点を確認する意味で調査団を派遣する予定である。来春出発予定。

4) 鉄鋼技術情報検索実験に自転車振興会補助金申請の件

事業総額6516千円で半額の補助金交付を要望した旨報告。

## 研究委員会

**第15回鉄鋼工学セミナー委員会**

開催日：11月15日。出席者：加藤主査，ほか10名。

1. 第2回鉄鋼工学セミナーの9月20日現在の収支が報告された。

2. 昭和52年度の予算の編成にあたり，編成方針が確認された。

3. 第3回セミナーは開催期日を8月下旬とし，場所セミナーの内容，開催要領案が検討された。

## 編集委員会

**第9回和文会誌分科会** 開催日：11月5日。出席者：長島晋一，ほか17名。

1. 11件の論文審査報告がなされ，修正依頼2件，掲載決定9件であった。

2. 「鉄と鋼」第63年第3号（3月号）に論文14件，技術資料1件，解説1件の掲載決定がなされた。

**第9回欧文会誌分科会** 開催日：11月9日。出席者：荒木幹事，ほか7名。

1. 14件の論文につき審査報告がなされ，掲載可1件，照会后掲載可11件，修正依頼1件および掲載不適当1件であった。

2. 「鉄と鋼」63年2号アブストラクトより2件の研究論文および「鉄と鋼」以外の学協会誌・会社刊行誌より3件の研究論文につき，投稿を勧誘することとなった。

## 共同研究会

### 製鉄部会

**第49回部会** 開催日：11月10日～12日。出席者：鈴木部会長，ほか127名。

1. 開催場所 神鋼・神戸製鉄所

2. 議題

○講演 神鋼・神戸・沢村製鉄製鋼部長による「自溶性ペレットの製造と使用について」，住金・中技研・阪本主研による「高炉炉底の保全計測について」の2件の発表があった。

○共通議題「製鉄設備の計装の現状と未来像について」各社における製鉄設備の計装化とそのシステム化，および将来への展望につき報告がなされた。

○自由議題 環境対策3件，除湿，ガス分布と5件の発表があった。

○新設改修報告4件

3. 工場見学

ペレット工場，焼結および排煙脱硫設備，第3高炉を見学した。

4. 次回開催について

今回は50回記念部会としコークス分科会と共催でS・52年5月18，19，20日東京で開催する。

### 電気炉部会

**第9回第2分科会** 開催日：11月10日～11日。出席者：池見部会長，ほか68名。

1. 開催場所 日本鑄鍛鋼(株)

2. 特別講演 次の2件の特別講演を行なった。

「電気炉廃棄物の処理について」

日本磁力選鉱(株)取締役鉄鋼本部長 谷川一明氏

「還元鉄視察団報告」

大同特殊鋼(株)技術部調査役 品川 丞氏

3. 研究報告の共通テーマおよび発表件数

(1) 電気炉廃棄物の処理(8件)

集塵ダストのリサイクル使用についての報告が5件と中心になった。

(2) 電気炉のコスト低減例(10件)

耐火物の再利用，改善，廃熱の利用などのコスト低減例が報告された。

4. 自由テーマ

4件の自由テーマ報告が行なわれた。

5. 工場見学 日本鑄鍛鋼の見学を行なった。

### 特殊鋼部会

**第54回部会** 開催日：10月21日～22日。出席者：高梨部会長，ほか93名。

1. 開催場所，山陽特殊製鋼(株)

2. 共通テーマ「介在物減少対策」については方法別に分け各々座長を設け，発表と活発な討論が行なわれた。

- (1) 精錬法の改善 座長山陽特殊製鋼製鋼部次長  
森田剛太郎氏  
9件の研究報告が行なわれた。
- (2) 造塊法の改善, 特殊元素添加による品質改善  
座長 新日鉄広畑製鋼部副部長 古垣一成氏  
9件の研究報告が行なわれた。
3. 自由テーマ  
8件の自由テーマについての研究報告が行なわれた。
4. 工場見学 山陽特殊製鋼と新日鉄広畑製鉄所の製鋼工場の見学を行なった。

### 圧延理論部会

第56回部会 開催日: 10月26日~27日. 出席者: 岡本部会長, ほか 69名.

東洋鋼板・下板で開催された本部会は, 潤滑関係3件, 板圧延関係7件, 圧延の制御関係4件, 電条圧延関係4件, その他4件の計22件の研究発表があり, 予定時間を大幅に超過する活発な討論がなされた。

第2日目には, 東洋鋼板・下松工場の冷延工場を見学し散会した。

### 条鋼部会

第24回大形分科会 開催日: 10月27日~28日. 出席者: 渡辺主査, ほか 76名.

恒例の「工場操業状況」とテーマ研究「精整ラインの現状と問題点及び今後の方向」及び自由研究「鍍片のホットチャージ」, 「クランプ処理へのサーボアーム導入結果」, 「ロールの二重化, 径大化によるロール原単位低減対策」が発表され活発に討論された。

特別講演は「ラベリングの現状と今後の動向」と題し日本ポスタルフランカーの辻氏にお願いした。

次回は「エネルギー原単位低減対策」と, 「ホットチャージについて」の2件をとり上げる。

新日鉄八幡製鉄所軌条工場を見学した。

第42回線材分科会 開催日: 10月13日~14日. 出席者: 三木主査, ほか 62名.

テーマ研究その1「工場操業状況」, その2「コスト低減対策について」および自由テーマ(10件)につき発表があり, 活発に質疑応答がなされた。テーマ1では, 省力, 材質別成品割合, 加熱炉燃料原単位などが質疑の的であつた。テーマ2では, コスト低減のための諸施策について討論され, 特に新日鉄釜石の線材工場新鋭化改造の成果が注目された。

次回は「工場操業状況」の他, 「圧延材の熱鋼温度管理」, 「オンラインの計測機器の使用状況」を取り上げる。なお, 住友電工の当分科会加入が承認された。

工場見学—新日鉄釜石製鉄所線材工場を行なった。

### 鉄鋼分析部会

第30回蛍光X線分析分科会 開催日: 10月27日. 出席者: 佐藤主査, ほか 35名.

1. 検出限界共同実験結果

今回の結果はJIS本則に反映することとし, さらに有

効に利用するため整理方法を検討することとした。

2. JIS本則の改訂について

通則の改訂を期に下記方針で本則を改訂することを考えた。このための基本方針を検討した。

3. その他

JIS通則の承認, ISO関係報告, などを行なった。

### 耐火物部会

第20回部会 開催日: 10月14日~15日. 出席者: 太田部会長, ほか 65名.

今回のテーマは製鋼関係耐火物ということであつた。発表件数は転炉関係8題, 造塊関係11題, 基礎1題, 電炉関係3題の計23題に及び, 活発に質疑応答がなされた。転炉関係ではゾンドライニング, 吹付, スラグコーティングなどによる寿命延長の成果が報告された。造塊関係では耐火物品質, 形状, 補修方法などの改善によるコスト削減寿命延長の事例が報告された。電炉関係でも煉瓦材質, 炉構造などの改善による効果が紹介された。

大同特殊鋼知多工場, 東芝セラミックス刈谷工場を見学した。

### 設備技術部会

第15回鉄鋼設備分科会 開催日: 10月28日~29日. 出席者: 矢沢部会長, ほか 103名.

1. 開催場所 住金・鹿島製鉄所

2. 議題

○共通議題「高炉及び高炉周辺機器の点検と点検方式・点検体制等について」

対象をガスの経路は送風機からガスホルダまで, 物の経路は庫下コンベアから溶銑鍋直前までとし, 舟本座長(新日鉄・君津)の司会により各社から発表があつた。

○アンケート議題は「送風支管の現状と問題点」, 「磨耗対策シリーズ(焼結篇)」の2件を扱った。

○自由議題は「VS-VSの紹介」, 「コークス炉のパイプチャージ装入方式について」の2件が発表された。

3. 工場見学

会議終了後, 第3高炉および熱延工場を見学した。

### 鉄鋼生産設備能力調査委員会

#### 条鋼設備部会

第6回大形設備分科会 開催日: 10月26日. 出席者: 児玉主査直属幹事, ほか 14名.

1. 加熱, 圧延, 鋸断各設備の能力算定式の確認を行ない, 精度のチェックをした。実績 t/h に対する算定式 t/h の精度は, 加熱設備で -9.8~+22.6% (平均+6.6%), 圧延設備で -6.4~+23.0% (平均+6.6%), 鋸断設備で -5.9~+24.1% (平均+11.3%) であつた。

2. 簡略式の精度チェックを行なった。算定式 t/h に対する簡略式 t/h の精度は -16.0~+72.5% (平均+7.4%) であつた。なお, これを持って当分科会は終了した。

**第6回中小形設備分科会** 開催日：10月28日。出席者：吉村主査，ほか10名。

1. 簡略式の最終確認を行なった。
2. 簡略式と設備能力調査表の関係を見直し，記入要領の統一および新規項目の追加をした。
3. 能力算定式の答申案を検討し，字句の統一を行なった。

当分科会はこれをもって活動を終了した。

### 標準化委員会

**第75回幹事会** 開催日：11月4日。出席者：佐藤幹事長，ほか12名。

1. ISO/TC17 幹事国の配分  
PLACOの質問に対しては，理事会の決定に従い，幹事国を引受ける用意がある主旨で回答する。
2. 協会規格制定方法  
規格票の大きさはA4版とし，体裁・様式はJISに準ずることにし，協会規格規程は再検討する。
3. 熱処理用語  
鉄鋼熱処理加工技術用語案を折込んだ，JIS熱処理用語の見直し分科会を設けることになった。

### ISO鉄鋼部会

**第11回SC8分科会** 開催日：10月14日。出席者：山南主査，ほか11名。

1. TC17 ロンドン総会報告
2. 丸鋼 (378)  
JISサイズが十分カバーされているので賛成する。
3. 角鋼 (379)  
カバー率が悪いのでJISサイズを提案する。
4. 平鋼 (380)  
生産実績調査の上再検討する。
5. 等辺山形鋼 (381)  
JISサイズのカバー率が悪く，コーナRを含めるとJISサイズに該当するものがないので反対する。

**第12回SC8分科会** 開催日：11月9日。出席者：山南主査，ほか8名。

1. 関西地区，関東地区のメーカー数社で，平鋼の生産量と生産比率を調査中である。11月中旬までに実績データを作成し，これをもとに平鋼の寸法に関するコメントを作る。
2. 等辺山形鋼の標準寸法について，preferredとnon-preferredとに2分して検討し，形鋼の生産量を考慮の上，標準数を提案した。

**第10回SC15分科会** 開催日：10月13日。出席者：山南主査，ほか13名。

1. 山南新主査の挨拶
2. 第5回TC17/SC15会議出席報告  
日本意見が，かなり採択された。
3. 新議題  
ポイント及びクロッシングレール，継目板及びタイプレートの新規格についても積極的に審議に参加する。  
トビー工業，大和工業の2社を委員に追加し，鉄道施設協会とも連絡を密にする。

**第10回分科会** 開催日：11月1日。出席者：金井主査，ほか10名。

1. ISO 221-1976 "Steel tubes-Wall thickness" を Approval として処理する。
2. ISO/DIS 4019 "Cold-finished steel structural hollow sections-Dimensions and sectional properties" を "No with technical comments" とする。
3. ISO/DIS 1127 "Stainless steel tubes-Dimensions and conventional masses per unit length" を "No with technical comments" とする。
4. ISO/DIS 1129 "Boiler tubes-Dimensions and commentional masses per unit Sength" を "No with technical comments" とする。
5. ISO/TC5/SC1 からの資料説明
6. その他

**第49回鋼管分科会** 開催日：11月10日。出席者：丸岡主査，ほか16名。

1. STPY の標準寸法  
実績調査の結果を基に単純化をはかった
2. STS  
常温シャルピ値について次回再検討する
3. STPA  
20種を追加
4. STPL  
水圧試験及び水圧代替 NDI 試験について文章表現を検討

**第2回鋼材表面欠陥分科会** 開催日：10月20日。出席者：三佐尾主査，ほか17名。

1. 外観及び形状欠陥用語  
共研6分科会から，改正提案の説明ののち基本方針を再確認した。なお分科会により形態及び特長，発生原因の記載に濃淡があるので標準化グループで手直しすることにした。  
規格の形態を一冊にまとめるか分冊とするかは次回検討する。

### クリープ委員会

**第7回高温熱疲労試験分科会** 開催日：11月9日。出席者：雑賀主査，ほか13名。

前回の分科会で，熱疲労試験方案の一部が修正されたのに伴い，試験研究の分担案について再度アンケートにより試験機関の希望を取り幹事の手元で取りまとめられまた試験材料  $2\frac{1}{4}\text{Cr-1Mo}$  の鋼の発注，手配が進められ G. E. Step Cooling 熱処理材を除いてメーカー（新日鉄）より実施機関に発注が終了したので，今回分科会が開催され次のように審議が行なわれた。

1. 高温熱疲労試験の分担決定について
2. 試験材料  $2\frac{1}{4}\text{-1Mo}$  鋼の仕様詳細および所要本数並に配付先の決定について
3.  $2\frac{1}{4}\text{Cr-1Mo}$  鋼の文献照会，内容について
4. 高温熱疲労試験方法の検討について